DH
十人十色

患者様の心に寄り添いながら安心していただける治療を

No.05

アップル歯科クリニック

吉住 祐子さん

1976年、兵庫県出身。DH歴6年。
もともとは同志社大学の法学部に在籍していたが、
一念発起して歯科衛生士を目指し、
兵庫県立総合衛生学院へ入学したという経歴の持ち主。
趣味はダイビング＆フィッシングとアウトドア派。

Advice of the Dental Hygienist

「私、思いたったらすぐに行動するタイプなんです(笑)」と話す吉住さん。彼女が歯科衛生士になった経緯は一風変わっている。「大学に通っていたんですが、就職活動の時期を迎えてもやりたい仕事がなかったんですね。このまま就職していいのかなぁ……とそんな迷いがありました」。そんなとき吉住さんは歯痛に襲われ、近所の歯科医院へ。そこで出会ったのが歯科衛生士。

「最初は、この人、誰なんだろうって(笑)。それでいろいろと質問してみたら、歯科衛生士という仕事があることを知って興味を持ちました」。歯科衛生士について調べた彼女は「この仕事がしたい！」と決意。なんと、そこであっさりと大学を中退してしまう。「歯科衛生士の学校に入学するほうが大切でしたから」と笑う。

ただ、歯科衛生士学校の学費は自分で何とかしなければならなかった。「大学を辞めた手前、親には出してくれと言えませんからね」。ということで彼女はいったん社会人になり、学費を貯めたところで歯科衛生士学校に入学。そして、念願の資格を手にした。

恵まれた職場で、念願の歯科衛生士に

「私の勤めるアップル歯科クリニックを知ったのは、ウェブサイトを見たのがきっかけ。ここ、ホントに歯医者さん？という驚きがありました。すごく洗練されていて」

興味を持った彼女はすぐに連絡をとり、見学を志望。スタッフ全員が笑顔でイキイキと働いている光景を目にして、ここで働くことを決めた。

現在は月に150人以上の患者さんを担当しているという吉住さん。仕事における心構えは「患者様一人ひとりのペースに合わせた対応をとること」だそうだ。「患者様のなかには、恐怖心をお持ちの方もいらっしゃいます。それを無視したら予防どころではありませんよね」。

いまの夢は「アップル歯科クリニックには、あの歯科衛生士さんがいる」と言われる存在になること。行動力に富んだ彼女のこと、きっと実現させるだろう。

求人情報はP52をご覧下さい。

UNIFORM SPECIAL FEATURE

ユニフォーム特集

おしゃれな制服、かわいい制服、かっこいい制服……。
今回取材にご協力いただいた医院のステキな制服をご紹介します。

P.36
ステーションビル歯科

P.34
五條歯科医院

P.52
アップル歯科クリニック

P.37
研歯科クリニック

P.51
西尾歯科

一般 小児 矯正 外口科歯 予防 ペリオ エンド インプラント 審美 訪問

チェア 9台
平均チェアタイム 45分

●募集人数	1名
●給与	21万円(2年制卒)　21.5万円(3年制卒)(基本給18万／資格3万)／残業／交(上限2万)／住宅(上限2万)※一人暮らしで車通勤不可の場合／目標達成手当0.5万／昇2／賞2
●勤務	月9時～19時45分／火・木8時40分～19時15分／水・土9時～17時15分／金9時～19時15分／
●休日	週休2日制(シフト)(日・不定曜日)祝／夏季冬季／GW／有給／3年在職者は長期休暇取得可能
●福利厚生	社保／厚年／労災／雇用／研修費／社旅／制服支／保育室／駐有
●住所	〒674-0057 兵庫県明石市大久保町高丘3丁目3番地の1

アップル歯科クリニック

TEL 078-935-4182
Mail yoshimi@apple-dental.jp
URL http://www.apple-dental.jp/
Access JR神戸線 大久保駅 神姫バス約7分

吉見哲朗院長

兵庫県出身。1999年、徳島大学歯科学部卒。東京の赤羽歯科に5年間勤務。04年、地元に戻り2004年開業。趣味はドライブとスノーボード。楽しみは子どもと遊ぶこと。性格は「裏っ表ぐな一本気です」。

世界基準の先端医療を提供！ 歯科衛生士の役割も、ますます重要に

スタッフたちが安心して働ける環境づくり

「これから社会に出ようとする歯科衛生士さんにはいろんな不安があると思うんです」と語るアップル歯科クリニックの吉見院長。「まわりと溶け込めるだろうか、ちゃんと成長できるだろうか、結婚しても続けられるだろうか……。そうした不安を理解した上で、私は働く環境づくりを考えています」。

そんな医院に足を踏み入れると、まず印象に残るのがスタッフたちの明るい笑顔とあいさつ。それは患者さんにとって安心感に通じるものだが、何よりも仕事を楽しんでいる「空気」が伝わってくる。

「楽しく働くために大切なことは、良好な人間関係」という思いから、院長自ら率先して「ありがとう」など感謝の気持ちを伝えるように心がけているとのこと。そういう院長の想いを、スタッフたちが自然に共有しているから、この心地よさがあるのだろう。

さらに医院では設備面でも歯科医院のイメージをくつがえす試みをおこなっている。ヘアサロンのように洗練された院内には音楽が流れ、アロマの香りがただよう。また、地域の子供を対象としたりんご祭りや、クリスマス会といったイベントも積極的におこなっている。こういったイベントもスタッフが主体となり、考え・動き・患者様と一体となって楽しむことで、患者様・スタッフ双方の満足度UPや働く環境づくりにつながっている。

一人ひとりが大切な人材 成長する姿がうれしい

「これからのクリニックには、治療技術と医療サービスが求められると私は考えています」。治療技術の面でも医院は常に研究している。世界基準の先端医療を提供しようと、院長自身が年に何度も海外へ研修を受けに行き、CTやマイクロスコープなど高度先端医療設備も積極的に導入している。

「治療技術を早く習得するためのマニュアルや、教育プログラムもあるので新人の方でもスムーズに仕事を理解し覚えることができますよ。」と院長。

医院では特に「予防」に力をいれている。予防とメンテナンスは歯科治療の基本でありとても重要です。また今後、現代社会の情勢に合わせた治療法（禁煙指導・エステ：リップマッサージ）も取り入れて予防の大切さを患者様へ発信していきたい。そのためには、「当然、歯科衛生士さんの役割も重要になります。歯科衛生士が予防をしてくれるから」そ、D-の仕事が成り立つ」と院長は熱を帯びた口調で語る。「だからこそみんなにはどんどん成長してもらいたいし、大きく期待しています。そんな風に期待をかけると、みんなポジティブになる。そういう姿を見るとうれしくなりますよ」。

意欲を認められると成長には加速度がつく。成長すれば自信が生まれ、仕事がさらに楽しくなる。そんな好循環を、アップル歯科クリニックは生み出しているのだ。

患者さんを安心させる技術・設備・接遇が当院の特徴だ。

前向きな環境のなかでぐんぐんと成長しています

入社1年目、それぞれ新人スタッフとして活躍する福本さんと石谷さん。アップル歯科クリニックを選んだ理由について「入社前の見学が決め手でした。もう、ここしかないって（笑）」と声をそろえて語る。歯科医院のイメージを超えたセンスある空間、患者さんと笑顔のコミュニケーションを交わすスタッフたち。明るくてハツラツとした雰囲気にすっかり「一目ぼれ」したとのことだ。そのあこがれの場所で働き始めての感想は？

「すごく前向きになりましたね。まわりの人たちがポジティブなので、自然にその影響を受けたと思います」（福本さん）。「私も学ぶことの楽しさを知りました。たとえば、患者様に満足していただくために何を勉強すればいいかを考えるようになりました」（石谷さん）。

恵まれた環境のなかで1年目からぐんぐん成長している様子がうかがえる。そんな2人のいまの目標は……。

「いつも笑顔を絶やさず、明るい雰囲気で患者様をお迎えできる歯科衛生士になることですね」（福本さん）。「技術や知識を習得しながら、患者様に慕われる歯科衛生士になりたいと思います」（石谷さん）。

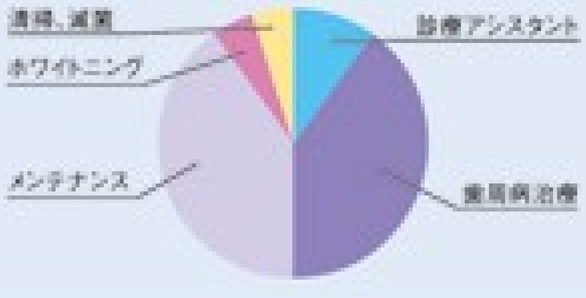
入社前の見学で「ここしかない！」と感じた勘いが正しかったことは、何よりも2人の笑顔が物語っている。

福本 理香（左）
鳥取県出身。鳥取県立歯科衛生専門学校卒業。趣味はゴルフ。

石谷 恵理子（右）
兵庫県出身。姫路歯科衛生専門学校卒業。趣味はアウトドア全般。

スタッフの内訳

Dr 5名／DH 6名／その他 10名

DH出身校／卒年

兵庫県立衛生学院　2002年卒　2006年卒
ユマニテク歯科衛生専　2003年卒
姫路歯科衛生専　2009年卒
鳥取県立歯科衛生専　2009年卒